

電子カルテの周辺部分も完全電子化に
システムの導入で、レポート・画像・記録紙などのペーパーレス化を実現



十川院長

導入経緯

電子カルテの完全ペーパーレス化を阻んでいた問題を解決できるシステムの導入

電子カルテの中心的部分ではなく、その周辺部分に電子化されない隙間がありました。紙カルテを使っていた際のカルテに貼付けたり、挟んでいた書類が、電子カルテの完全ペーパーレス化を阻んでいたのです。特に問題だったのが①画像とレポート、②様々なタイプの書類の2つです。

これらの管理については明瞭なソリューションがなく、はっきりとした電子化がありませんでした。まずは①の解決から取り組みました。各メーカーから提案をもらい検討、②についてもソリューションを提示して頂いたところ、アストロステージはいずれの問題もクリアされ、はじめから病院全体の電子化に上限を設け一括した提案があり、こちらとしても進めやすいと感じました。

また、コスト面を意識すると、周辺部分はオプションが付き始めるときりがなく、費用がどんどん高額になっていきます。アストロステージはそれらが一括して含まれていたため、当時のシステム導入にあたり、1、コスト 2、利便性を優先順位として考えていましたが、1と2のどちらも成立したということが、導入を決定付けた一番のポイントです。検査科からの目線では、視覚的に見やすい部分が決め手となりました。

診療情報：検査を行う上で必要な情報は「展開」し、不要な情報は「縮小」することにより、スクロールせずに検査レポートを含め多くの情報を一覧確認できます。

画像：サムネイルにその検査の画像が表示されているため、CTなのか、超音波なのか内視鏡なのか一目で分かります。

時系列表示：比較した他のメーカーが縦表示であったのに対し、STELLARは横表示のため見やすかったです。電子カルテ上の時系列表示も横であったため操作は違和感なく行えました。

導入システム	
DICOM 画像管理システム	Nazca
RIS システム	NazcaRIS
診療情報統合システム	STELLAR
ドキュメント作成&管理システム	STELLARReport
画像キャプチャシステム	ARKGate

導入効果

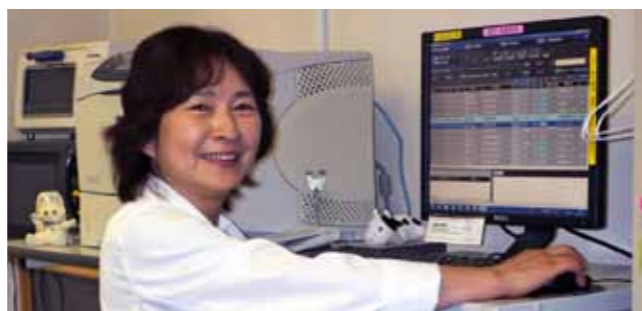
**システムの導入により、入力ミスが減少
ペーパーレスになり処理時間なども短縮**

RISの導入により、検査科では今までは手入力していた受付票のID入力がバーコードになったことで、入力ミスはなくなりました。超音波レポート・画像、心電図記録紙などのペーパーレス化により、それに携わる処理時間も短縮され業務効率化に繋がりました。

操作も簡単で、ほぼリアルタイムに検査結果を臨床側に提出することができます。過去データも比較・確認ができるので検査を行う上で非常に参考になります。

人為的ミスは少なくなったとはいえ、ゼロにはなっていないので、改善策を考えていきたいと思えます。

当院は栃木県の郊外にある立地です。郊外を支える医療機関は少ないため、ある程度一定の範囲の患者様を当院で受け持ち、完結しなければなりません。当院の約50名の医師は、急性期医療をするためにここに集まっています。医療者のモチベーションというのは急性期医療をするという部分にフォーカスされています。当院はまさに今現在、高度な画像情報などを駆使して、現時点での可能な限りでの、医療情報を患者様にフィードバックして医療を進めていくという役割があるのです。その情報を極めて簡単に呼び出すことができる、アストロステージ製システムの電子的な部分は、こういった分野でも非常に役に立っていると思います。



NazcaRIS 使用風景



上都賀総合病院：システム導入時期 / Jul 2013



当院は、栃木県西保健医療圏の基幹病院として、農協組合員並びに地域住民の皆様へ安全、安心で質の高い医療と看護を提供するため、現在地において新病院の建設を進めております。

昭和10年の開設以来70余年、「地域社会への貢献」を基本理念として今日まで歩んでまいりました。平成25年には新病院建設計画の約半分の東棟が完成し、外来と内科、整形外科病棟として使用を開始しました。平成26年9月の西棟の完成、そして、平成27年5月の全体完成を目指して、地域の基幹病院として高度医療、がん診療、救急医療、災害医療、へき地医療などの提供、生活習慣病の予防と治療、将来の医療ニーズへの対応など、地域住民の皆様の健康的な生活を守りつづけることができる新病院の整備を進めてまいります。

所在地：栃木県鹿沼市下田町 1-1033

病床数：442床

診療科：内科・神経内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・リウマチ科・精神科
小児科・外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・呼吸器外科・皮膚科
泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科
麻酔科・救急科・歯科口腔外科・心療内科



検査科の皆さん

今後の方針

当院は患者様の約8割が市民であり、鹿沼市民約10万人の一定数に発生する疾病を診療し、入院診療を主に行う二次医療が中心の病院です。鹿沼市民の日常的な健康を支えていく役割を果たしていきます。

今後の期待・要望

企業として一定のシェアをキープすることは必要です。会社の業績をしっかりと安定させ、その上で医療に貢献して頂くことを期待しています。また社員の思いはクライアントへそのまま伝わります。思いやり、熱意のある人間、そんな人たちが会社であり続けてくれるれば会社は安全であり、我々にも安全で安心なサービスを提供できます。

アストロステージの製品は医療の隙間を埋める部分です。そこを選んだからには、埋めるなら埋めるで完璧を目指してください。製品コンセプトをしっかりとキープし、主導権を握るくらいの勢いで色々なことを提示して頂きたいです。

システム構成図

